

シラン・シロキサン系表面含浸材

ERコートシラン

ERコートシランは、施工性や浸透性に優れた、シラン・シロキサン系のコンクリート保護材です。コンクリート表層部に含浸することにより高密度の吸水防止層を形成し、外部からの劣化要因の浸入を防ぎます。これによりコンクリート構造物を長期的に保護します。

特徴

- ▶ 吸水防止層の形成
コンクリート表層部に深く浸透し高密度の吸水防止層を形成します。
- ▶ 吸水防止層の効果
高密度の吸水防止層は表面からの水分や塩化物イオンの浸入を抑制するだけでなく、ひび割れからの水分の浸入も抑制します。
一方、コンクリート内部の水分を水蒸気として透過させる為、コンクリート中の水分量は減少します。
- ▶ 鉄筋腐食、塩害、凍害、ASR、中性化による劣化の抑制
吸水防止層の効果により、鉄筋の腐食を抑制し、さらに、塩害、凍害、ASR、中性化等によるコンクリート劣化を抑制します。
- ▶ 優れた施工性
性状がペースト状でダレが生じにくいため、垂直面、天井面でも施工面に留まり深く浸透します。
また、材料ロスが少なく、1回の施工で塗布量を確保できます。
- ▶ ポリマーセメントモルタルとの併用可能
ポリマーセメントモルタルによる断面修復後に塗布することで、劣化因子の浸入を抑制します。
- ▶ 外観変化がない
塗布後は無色透明になるため、表情変化が少なく、構造物の外観を著しく損ねる事がありません。
施工後もコンクリートの表面を目視で観察ができるため、日常点検を行えます。

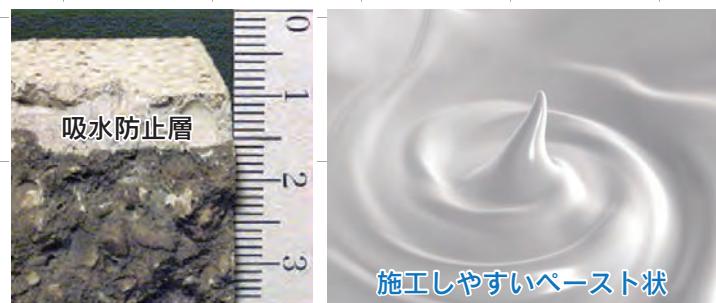
用途

- ▶ コンクリート構造物の劣化進行抑制、表面保護、耐久性の向上、予防保全（劣化因子の浸入抑制）
- ▶ 断面修復後の表面保護、耐久性の向上、予防保全（劣化因子の浸入抑制）
- ▶ コンクリート構造物の美観維持

荷姿



形成システム



施工フロー

下地処理

旧塗膜剥離・断面修復・クラック補修等が必要な場合は、現場毎の施工仕様書に基づき処理する。



素地調整

簡易清掃、施工面浄化、施工面の乾燥
(表面水分率 8%以下)

含浸材塗布

ERコートシラン塗布
(基本1回塗り、状況に合わせ塗り重ね可能)

標準塗布量	200g/m ²
施工方法	刷毛、ローラー、スプレー

※施工対象がポリマーセメントモルタルや緻密なコンクリートで液が
浸透せず流れ落ちるようになった時は、塗布を中止してください。



養生

ERコートシラン塗布後、塗布面が乾燥状態になるまで
水分に触れない様にする。

性能

項目	試験値
種類	シランシロキサン系含浸材
主成分	アルキルアルコキシラン
形状	ペースト状
色	白色
臭い	微臭
pH	8.7 (25°C)
引火点	≥82°C
密度	約0.87 g/cm ³ (23°C)
水溶性	混和しない
粘度	100,000mPa.s (25°C)

JSCE-K571-2013(土木学会)に基づく品質評価試験

項目	試験値	規格値	判定(グレード)
外観	変化なし	外観変化なし	—
含浸深さ	3.6~6.0mm	—	—
透水抑制率	95%	80%以上	A
吸水抑制率	93%	80%以上	A
透湿比	100%	80%以上	A
中性化抑制率	35%	30%以上	A
塩化物イオン浸透抑制率	100%	80%以上	A

■使用上の注意

- ご使用に際してはSDS(安全データシート)をよく読んで下さい。SDSの入手は購入先にご依頼下さい。
- 保護メガネ、ゴム製の保護手袋、保護マスクなどの保護具を必ず着用して下さい。
- 施工時、養生時は換気を十分に行い、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- 湿度が85%以上の場合は施工を避けて下さい。
- 近接の建物や非塗布面の境界はシート及び養生テープで保護して下さい。
- 表面の撥水現象(ビーズ効果)は環境条件等により発現の時期や程度が異なります。
- 紫外線の影響を受けやすい表面は、撥水効果の寿命が短くなります。コンクリート内部は紫外線の影響を受けにくく、撥水機能は長期にわたり維持されます。
- 廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。
- 保管時は、換気の良い場所に静置して下さい。また、室内での保管を原則とし、0°C以上の環境で保管して下さい。
- 容器内の材料は使い切ることを推奨しますが、残った材料は混入物がないことを確認し密閉状態で保管して下さい。
- 材料の取扱い後は、手洗い、うがいを十分に行なって下さい。
- 本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 運搬時、液漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないようにして下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする
エレホン・化成工業株式会社
EREWHON

<https://erewhon.co.jp>

● 本社・工場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
●いわき工場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
●大阪支店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区富原5-1-3	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
●福岡支店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
●関東支店	〒224-0003	神奈川県横浜市都筑区中川中央2-5-13-3F	TEL (045) 534-9656	FAX (045) 534-9657
●仙台支店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
●名古屋支店	〒463-0048	愛知県名古屋市守山区小幡南3-5-21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
●札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
●新潟営業所	〒950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島1-10-23	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
●静岡営業所	〒422-8058	静岡県静岡市駿河区中原743-1-1F	TEL (054) 270-9380	FAX (054) 270-9381
●北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
●広島営業所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
●熊本営業所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2-14-47	TEL (096) 237-6557	FAX (096) 388-6227
●鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-51-25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
●(株)エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜5226-13	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
●(株)エレホン・技研松山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1450-6	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230